

第5学年2組家庭科学習指導案

1 題材名 整理・整とんで快適に

2 題材の目標

- 住まいの整理・整頓の仕方を理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- 環境に配慮した物の使い方について理解する。【知識及び技能】
- 整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。【思考力・判断力・表現力等】
- 家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。【学びに向かう力、人間性】

3 題材について

本題材は、学習指導要領「B 衣食住の生活」の(6)快適な住まい方に当たり、気持ちよく生活するために、身の回りの整理・整頓が必要であることに気づき、場所や目的に合わせて整理・整頓を工夫してできるようになることをねらいとしている。「A 家族・家庭生活」の(2)家庭生活と仕事及び「C 消費生活・環境」の(2)環境に配慮した生活のA及びイとの関連を図ることで、主体的に家庭で整理・整頓したり、SDG'sを意識して不用品の活用の仕方を考えたりする力を身に付けさせたい。

本題材では、題材の導入を本時に当て、まず、散らかった部屋の写真から、整理・整頓の必要性について考える。写真の中で整理・整頓すべき箇所を書き出し、学級全体でそれらを共有しながら「快適・安全・環境・健康」の4観点に分類する。このとき、「整理」と「整頓」の意味の違いについて押さえられるようにする。その後、整理・整頓の手順について確認し、「自分たちの身の回りで快適にできるところはないか。」という問いかけによって自分の引き出しを整理・整頓する。実践の前後の変化を一目で感じられるように、写真を撮影する。実践から気付いたことを写真とともに「発表ノート」にまとめ、グループで見合う活動をする。そうすることで、自分では気付かなかった整理・整頓の仕方について新たに発見することができるだろう。次に、引き出しの整理・整頓で出た不用品の扱いについて考える。捨てるだけでなく再利用(リユース)や再生利用(リサイクル)などといった馴染みのある言葉と、児童が普段使っている具体物を確認しながら、不用品を増やさない工夫を考えられるようにする。その工夫によって、環境に配慮した物の使い方への理解が深まるだろう。このような学習を基に家庭での実践を行う。学校と家庭との共通点や相違点を踏まえて整理・整頓の必要がある場所について実践計画を立てることで、場所や目的に応じた整理・整頓の仕方や注意点などに気付く児童もいるだろう。実践後には、整理・整頓した目的や、使わなくなった物の生かし方の工夫などを「発表ノート」にまとめる。最後に発表を行うことで、整理・整頓に対する理解や意識を高め、家庭生活で進んで整理・整頓を行う態度を養いたい。そして、本題材で自分の引き出しや家庭を整理・整頓することは、物を大切にしたり、ゴミを削減したりすることへの関心を高めるだろう。それをきっかけとしてSDG'sについて考える気持ちを育みたい。

教材については、授業冒頭で用いる散らかった部屋の写真を、担任の実際の部屋であると設定する。それにより児童に親近感をもたせ、興味を引き付け、本時の内容である整理・整頓について考えようとする意欲が高まるだろう。

ICT 活用の一つとして、SKYMENU Cloud の「発表ノート」を用いる。各自で整理・整頓を行う前後の写真や振り返りを同じスライドにまとめることで、実践前後の変化を比較し、同じ観点で実践した友達でも整理・整頓の仕方が異なることに気付く手立てとして有効だと考えた。

4 児童の実態（児童数：男子 17 名 女子 17 名 計 34 名） 実施日：令和 6 年 8 月 30 日

問 1 家庭科は好きですか。

好き	18 人 (52.9%)	(理由) ・調理実習で料理ができるから。 11 名
どちらかと言えば好き	13 人 (38.2%)	・裁縫が好きだから。 11 名 ・楽しいから。 4 名 ・調理や裁縫の時、上手にできると嬉しいから。 2 名 ・お母さんがやっている気持ちが分かるから。 2 名 ・みんなで料理するのが楽しいから。 1 名 ・作ったものを使えるから。 1 名 ・新しいことにチャレンジできるから。 1 名
どちらかと言えば好きではない	3 人 (8.8%)	・裁縫が苦手だから。 2 名 ・料理は好きだけど、授業が好きじゃないから。 1 名

問 2 家庭科で学習したことで、家庭でも実践したことがあるものはどれですか。

生活時間	調理	裁縫(手縫い・ミシン)	実践したことはない
11 名(32.3%)	33 名(97%)	17 名(50%)	1 名(2.9%)

問 3 家庭で普段から行っている自分の役割や進んで取り組んでいるものは何ですか。

食事に关すること	配膳や片付け	20 名(58.8%)
	調理	8 名(23.5%)
清掃に关すること	自分の部屋の清掃	13 名(38.2%)
	ゴミ出し	11 名(32.3%)
	自分の部屋以外の掃除	9 名(26.4%)
	風呂掃除	6 名(17.6%)
整理・整頓		15 名(44.1%)
洗濯		7 名(20.5%)

問 4 整理・整とんは得意ですか。

とても得意	3人 (8.8%)	(理由)	
得意	11人 (32.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段から身の周りを整理しているから。 5名 ・ 整理整頓が好きだから。 4名 ・ すっきりすると楽しいから。 2名 ・ 毎日整理整頓しているから。 1名 ・ 物が落ちた時に速く片付くから。 1名 	
あまり得意ではない	18人 (52.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物を片付けるのが苦手・捨てられないから。 7名 ・ すぐに飽きてしまう・やるきが出ないから。 5名 	
得意でない	2人 (5.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片付けてもすぐに散らかってしまうから。 3名 ・ 部屋・引き出しの中が少し汚いから。 2名 ・ どこにあるか分からないから。 1名 ・ 片付けようとしたら遊んでしまうから。 1名 	

問5 整理・整頓は必要なことだと思いますか。

とても必要	17人 (50%)	(理由)	
必要	17人 (50%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整理しないと汚くなる・生活が不便になるから。 12名 ・ 部屋をきれいにすると物を見つけやすいから。 5名 ・ 整理すると家がきれいになる・身の周りがすっきりするから。 4名 ・ 自分や周りの人が気持ちよく生活するのに必要だから。 3名 ・ 生活する環境を良くする・虫が出ないようにするため。 3名 ・ 部屋が汚いとやる気が出ないから。 2名 ・ 自分の生活に不満をもつかもしれないし、勉強するとき周りが汚かったら集中できないから。 1名 ・ 整理しないと必要なものを無くす可能性があるから。 1名 ・ ほこりが溜まるから。 1名 ・ 次に使いやすいようにするから。 1名 ・ 周りが汚いと不衛生だから。 1名 	
あまり必要ではない 必要ではない	0人		

問6 普段、家でどのくらい整理・整とんをしますか。

毎日	4名(11.7%)	(整理・整頓をする場所)
週に4～6日	5名(14.7%)	
週に1～3日	7名(20.5%)	
2週間に1回	4名(11.7%)	
月に1回	10名(29.4%)	
半年に1回	3名(8.8%)	
年に1回	1名(2.9%)	
やらない	0名	

・自分の部屋・机・引き出し	27名
・家族の部屋・おもちゃ	3名
・リビング	3名
・家の中全部	1名

問7 身の周りで整理・整とんした方が良いと思う場所はどこですか。(自由記述)

<ul style="list-style-type: none"> ・自分の部屋・机・引き出し・棚 22名 ・リビング 5名 ・物置 3名 ・自分以外の部屋 2名 ・トイレ 1名 ・床 1名 ・ない 2名
--

〈考察〉

学級の90%の児童が「家庭科が好き・どちらかというが好き」と回答し意欲をもって授業に臨んでいる。また、家庭でも調理や裁縫などを実践している児童も多く見られる。調理に関しては97%の児童が家庭でも実践しており、意欲的に取り組んでいることがわかる。しかし、家庭で整理・整頓に取り組んでいる児童は44%と、関心が低い。さらに整理・整頓が「得意」と答えた児童は40%であり、半数以上の児童は整理・整頓が得意ではない。その理由として挙げたことが「物を片付けることが苦手・捨てられない」や「すぐに飽きてしまう・やる気が出ない」である。整理のポイントが分からなかったり、整頓をするときの目的が曖昧だったりすることが整理・整頓を始めることのハードルを高くしていると考えられる。一方で、児童全員が「整理・整頓は必要」と回答した。整理・整頓が得意でない児童も、整理・整頓をすることの必要性については十分理解しているといえる。59%の児童が週に1日以上整理・整頓を行っていることから、整理・整頓を行おうとする気持ちはあることがわかる。

学級では常に身の回りの整理・整頓を意識している児童が70%近くいる。しかし、教室内で物が散らかっていたり、引き出しの中の物が机の周りに散乱したりしていても気にならない児童も一定数おり、意識の差を感じる。机の中や周りが整理・整頓されていないと、適切に物を管理できず忘れ物をしたり、落ちているものが破損したりする原因となる。落ちているものにつまずいて怪我をするかもしれない。そういったことを予測してよりよく学校生活を送るためにも、無駄やゴミを減らすリデュース、もう一度生かすリユース、資源として使うリサイクル、受け取らないリフューズ、修理して使うリペア、といった5Rなどの正しい知識や技能を身に付けてほしい。

本時は、本題材の導入に当たり散らかった部屋の写真を見て整理・整頓の必要性に気付かせる。グルー

プごとに写真を配付し、整理・整頓すべき箇所を付箋に書き、貼っていく。付箋のコメントをグループで話し合いながら、項目ごとのまとまりを作っていく。それらを学級全体で共有する際に、「快適」「安全」「環境」「健康」の4観点に気付けるように意図的に分類して板書をする。さらに、板書した内容から必要な物と必要でない物を分けることを「整理する」といい、整理した物を、まとめたり、使いやすさを考えた場所に置いたりすることを「整頓する」ということを確認する。全員が言葉の意味を認識したところで、自分の引き出しの整理・整頓を行う。実践前後を写真で残し、何に気を付けて整理・整頓したのか、実践後に良くなったことなどを「発表ノート」にまとめる。また、自分と友達の実践した内容を比べることで、異なる視点や工夫に気付けるだろう。様々な整理・整頓の仕方について知り、それを家庭生活に生かしていこうとする意欲を高めたい。それと同時に、引き出しの整理・整頓で出た不用品をどうすればよいか、という疑問を投げかけ、次時につなげたい。

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①住まいの整理・整頓の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ②環境に配慮した物の使い方について理解している。	○整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

6 指導計画

小題材	学習内容	時配
なぜ整理・整とんをするのだろう	<ul style="list-style-type: none"> 整理・整頓が必要な理由を考える。(快適・安全・環境・健康の4観点を確認する。) 自分の引き出しの中を整理・整頓する。 	1 (本時)
整理・整頓をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 引き出しの整理・整頓で出た不用品の扱いを考える。 ごみを減らす工夫や物を生かして使う工夫などである5Rについて考える。 	1
身の回りを快適で安全にしよう	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で整理・整頓する必要がある場所を調べる。 整理・整頓する前の状態を記録する。(写真、絵など) 	課外
	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で調べてきたことを基に整理・整頓する計画を立てる。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 計画を基にして家庭で実践する。 実践内容を記録する。 	課外
	<ul style="list-style-type: none"> 実践内容を発表する。 友達の発表から整理整頓の新たな視点に気付く。 	1

7 指導と評価の計画(全4時間)

ねらい・学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力、人間性
<p>○生活の中でなぜ整理・整頓が必要か考える。</p> <p>○整理整頓の観点を知る。 (快適・安全・環境・健康)</p> <p>○引き出しの中身を観点を考えながら整理・整頓する。</p>			<p>○整理・整頓の必要性を知り、実践しようとしている。(観察・発表ノート)</p>
<p>○引き出しを整理して出た不用品の活用方法を考える。</p>	<p>○環境に配慮した物の使い方について理解している。 (観察・発表ノート)</p>		<p>○住まいの整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。 (観察)</p>
<p>○家庭で整理・整頓する必要のある場所を調べ、実践計画を立てる。</p>		<p>○整理・整頓の仕方について実践に向けた計画を考え、工夫している。(発表ノート)</p> <p>○整理・整頓の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。(発表ノート)</p>	<p>○整理・整頓の仕方について工夫し、実践しようとしている。 (観察)</p>
<p>○実践内容を発表する。</p> <p>○友達の発表から、整理・整頓の仕方の新しい視点に気付く。</p>		<p>○整理・整頓の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 (観察・発表ノート)</p>	<p>○整理・整頓の仕方について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 (観察・発表ノート)</p>

8 本時の指導

(1) 目標

整理・整頓の必要性を知り、実践しようとしている。

(学びに向かう力、人間性)

(2) 展開

時配	児童の活動	教師の指導○と評価◆	資料・教具
1	<p>1 散らかった部屋の写真について感想を発表する。</p> <p>〈予想される児童の姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンガが散らかっていて汚い。 ・ハサミが床に置いてあって危ない。 ・タブレットを踏んだら壊れたり怪我したりしそう。 ・食べかけや飲みかけがあると衛生的に良くない。 	<p>○整理・整頓の必要性に気付かせるため、散らかった部屋の写真を見せる。</p> <p>○児童の興味を引くために、教師の散らかった部屋の写真を用いる。</p> <p>○児童が意見交換できるよう、グループで一枚の写真を共有する。</p>	<p>ギガタブ テレビ</p> <p>写真</p>
<p>㊦整理・整頓がなぜ必要か考えよう。</p>			
14	<p>2 散らかった部屋の写真について、何が原因でどのようにしたらよいか考える。</p> <p>①グループ毎に配付した写真上へ付箋を貼る。</p> <p>〈予想される児童の姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンガは本棚に並べる。 ・マンガが散らかっていて汚いから、気持ちよく過ごすために本棚に並べる。 ・ハサミが床にあると危ないから、ケガしないよう、また、次に使うことを考えて机の上に筆記用具と置く。 ・タブレットを踏んだら壊れてしまうから、ケースに入れて机の上や棚に片付ける。 ・食べかけや飲みかけがあると不衛生だから、病気になったり虫が湧いたりしないよう、ゴミ箱に捨てる。 	<p>○写真の細かい部分にも着目して整理・整頓の必要がある箇所を見つけられるよう、2人で1枚の写真を用意する。</p> <p>○写真の中で整理・整頓の必要があると思う部分について、事実、片付けどちらかを書くだけでもよいことを伝える。</p>	<p>写真 付箋</p>

	<p>②グループでコメントを見合い、コメントの内容を分類し発表する。 〈予想される児童の姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンガが散らかっているとつまずくこととハサミが床に落ちていることは「危ない」でまとめよう。 ・飲みかけのペットボトルと散乱しているゴミは衛生的によくないから、「衛生」でまとめよう。 	<p>○学級全体で共有する時に、整理・整頓をする4観点に気付けるよう、意図的に分類して板書する。</p> <p>○児童が「整理」と「整頓」の意味の違いに気付くことができるよう板書した意見に整理は赤、整頓は青で線を引く。</p>					
15	<p>3 四観点を意識して自分の引き出しを整理・整頓する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理・整頓する前後の写真を撮る。 <p>〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不要なものがたくさんある。 ・使うものと使わないものを分けよう。 ・よく使うものを手前に置こう。 ・同じ種類は揃えて置こう。 ・使った物をいつも戻しているから使いやすい引き出しだ。 	<p>○整理・整頓する良さに気付かせるため、ギガタブで整理・整頓の前後を写真で撮影して比較できるようにする。</p> <p>○必要でない物はすぐ捨てるのではなく、一時保管袋に入れるよう声をかける。</p> <p>○整理・整頓の必要がない児童には、なぜ整理・整頓の必要がないか考えるよう声をかける。</p> <p>◆整理・整頓の必要性を知り、実践しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	引き出し				
13	<p>4 整理・整頓についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践前後の写真と振り返りを「発表ノート」にまとめる。 <table border="1" data-bbox="231 1480 727 1798"> <tr> <td data-bbox="236 1487 480 1671">Before 写真</td> <td data-bbox="480 1487 722 1671">After 写真</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="236 1671 722 1798">振り返り 良かった所、気を付けること</td> </tr> </table>	Before 写真	After 写真	振り返り 良かった所、気を付けること		<p>○発表ノートに整理・整頓する観点や振り返りを合わせてまとめる方法を伝える。</p> <p>○整理・整頓の前後の変化に気付かせるために、写真を撮り、撮った写真を発表ノートに並べて配置するよう声をかける。</p> <p>○自分と友達との整理・整頓を比べたときに、新たな整理・整頓の仕方に気付いた児童を取り上げ、称賛する。</p>	ギガタブ 発表ノート
Before 写真	After 写真						
振り返り 良かった所、気を付けること							

2	<p>5 振り返り</p> <p>①整理・整頓の4観点を確認し、学習を振り返る。</p> <p>②次時の流れを知る。</p>	<p>③快適に過ごすために整理・整頓が必要だ。</p> <p>○引き出しを整理・整頓したときに出た不用品について、考えていくことを伝える。</p>	
---	--	---	--

<板書計画>

<p>④整理・整頓がなぜ必要か考えよう。</p>	<p>整理 必要な物と必要でない物を分けること</p> <p>整とん 整理した物を、まとめたり、使いやすさを考えた場所に置いたりすること</p>
<p>散らかった 部屋の写真</p>	<p>★自分の引き出しを整理・整とんしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使うものと使わないものを分けよう。 ・よく使うものを手前に置こう。 ・同じ種類は揃えて置こう。 ・使った物をしっかり戻しているから使いやすい引き出しだ。
<p>快適</p> <p>マンガが散らかっていて汚いから、気持ちよく過ごすために本棚に並べる。</p>	<p>環境</p> <p>同じお菓子や飲み物をいくつも開けていて勿体ないから、一つずつ開ける。</p>
<p>安全</p> <p>ハサミが床にあると危ないから、ケガしないよう机の上に置く。</p>	<p>健康</p> <p>食べかけや飲みかけなどがあると不衛生だから、ゴミ箱に捨てる。</p>
<p>⑤気持ちよく過ごしたり、ケガや病気にかからないようにしたりするために整理・整頓が必要だ。</p>	